



■夏休み特別企画「休館日の図書館へようこそ！」

子どもたちを休館日の図書館にお招きします。本の読み聞かせやクリアファイルを使った遊べるおもちゃ作りをして、休館日の図書館で一緒に楽しみましょう。静かにしなくてもいい図書館はワクワクするよ！

●日時

8月22日(火) 午前10時30分～正午

●集合場所

図書室入口前

●対象

小学6年生まで

※保護者・引率者は入館できません。

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行う

町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



ています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

●日時

8月10日(木) 午前10時30分～

●会場

おはなしのへや(甲佐町生涯学習センター図書室内)



▲夏休み特別企画にぜひお越しください

新着図書紹介

一般図書



くもをさがす

西 加奈子 著/河出書房新社

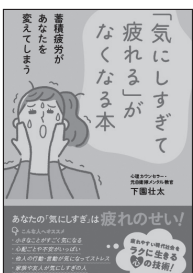
カナダで、がんになった…。2021年コロナ禍の最中、滞在先のカナダで浸潤性乳管がんを宣告された著者が、乳がん発覚から寛解までの約8カ月間を克明に描く。祈りと決意に満ちた初のノンフィクション。読者の心に響く1冊



戦争に行った父から、愛する息子たちへ

ティム・オブライエン 著/作品社

遠い戦地で兵士だった時代について、腹を割って君に話してみたい…。戦争の真実を伝え続けて著名なベトナム帰還兵の作家による、50歳を過ぎて生まれた2人の息子と、いつか去り行くこの世界への、慈愛に満ちたメッセージ。



「気にしすぎて疲れる」がなくなる本

下園 壮太 著/清流出版

疲れやすい現代社会をラクに生きるには？小さなことを「気にしすぎ」してしまう人向け、気になることについての仕組みと対策を説明し、段階別対処法を紹介し、身近な人が気にしすぎて困っている人へのヒントも掲載。

児童書



ふしぎ駄菓子屋銭天堂 19

廣嶋 玲子 著/偕成社

その駄菓子屋は幸せと不幸のわかれ道。駄菓子屋「銭天堂」の女主人・紅子が、今日もお客さんの運命を駄菓子で翻弄する。大人気シリーズ最新刊。「ライバルバルーン」「ごめんラーメン」など、ふしぎなお話全7話を収録。



「よるのあいだに」

ハリエット・ホブデイ 絵/B L 出版

わたしが寝ている夜も、みんなのためにがんばって仕事をしている人たちがいる。みんなの暮らしを支えているのは、どんな人たちかな？夜間に働く人たちの仕事を、やさしい表現で描いた絵本。働く人へのインタビュー付き。



給食室のいちにち

大塚 菜生 文/少年写真新聞社

いつも食べている給食はどうやってできているの？栄養士ってどんな仕事？調理員ってどんな仕事？給食ができるまでの現場のようすをいきいきと描いた絵本。安全でおいしい給食が教室に届けられるまでを楽しく学べる1冊。

公民館 だより

■お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447 (内線321)

町生涯学習センター・ギャラリーモール展示のお知らせ ～8月～

●西谷博憲個展
西谷博憲さんが描いた近代芸術
(抽象画) を展示します。

▶期 間 8月7日(月)～21日(月)

▶主 催 甲佐町文化協会



令和5年度公民館主催講座 第1回町民大学講演会が開催



▲フレイルと心臓リハビリについて講演する高村さん

6月30日(金)甲佐町生涯学習センター・ホールで令和5年度町民大学の講演会が開催されました。今回は、熊本赤十字病院の角田隆輔副院長と高村雅直理学療法士を講師に迎え、住民44人が参加しました。

角田さんは「健康寿命と運動について」、高村さんは「フレイルと心臓リハビリについて」と題し講演。参加者は、健康のために毎日継続して運動することの大切さや、要介護状態の前段階である「フレイル(健康と要介護の間の虚弱な状態)」の段階で介護予防に取り組むことの大切さを学びました。

参加者は「今回の講演を聞いて、自身がフレイルに該当すると思いました。毎日歩こうと思ってはいましたが、なかなか行動に移せていませんでした。今日から毎日のウォーキングを頑張りたいと思います」と話しました。

人権 心豊かに暮らすために

本町の教員らが人権問題について考える

令和5年度甲佐町学校人権教育 部会研修会を開催

6月27日(火)甲佐町民センターで、令和5年度甲佐町学校人権教育部会「新規採用者および転入教職員研修会」が開催されました。

同研修会は、甲佐町人権教育推進協議会が部落差別をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向けてすべての教職員の基本的認識の共有を図り、本町における人権教育の充実と発展に努めることを目的に開催するもの。本年度、本町教育委員会に配属された教職員など34人が参加しました。

研修会では、町民センターの中林健次所長から甲佐町民センターの取り組みについて説明。甲佐中学校の大津和浩先生は、甲佐町における人権教育の現状と課題について報告しました。

その後、参加者によるグループ討議で、「私と部落問題とのかかわり、人権教育を進めるにあたっての悩みなど」のテーマのもと人権教育に関する意見交換が行われました。

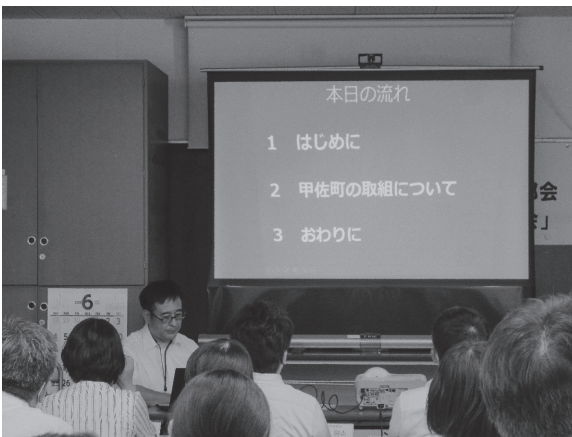
研修を終えた参加者からは、「学校人権教育を丁寧に進め、差別を見抜き、許さず、差別をしない、させない子どもたちを育てたいと思います」「自分が思っている以上に、身近なところに部落差別があることが改めてわかりました。自分のこととしてとらえていくことが大事だと思いました。」といった声が聞かれました。

●お問い合わせ先

町社会教育課

☎096・234・2447

(内線327)



▲本町の人権教育について説明する大津和浩先生